

北海道大学には、1876年に創設された札幌農学校時代から収集・保存・研究されてきた400万点にものぼる標本／資料が蓄積されています。その中には、新種の発見・認定の基礎となる貴重なタイプ標本が1万点以上含まれています。1999年春に開館した北海道大学総合博物館は、こうした北大の多様な研究の伝統を今に伝えるとともに、最先端の研究をさまざまな実物資料や映像で展示・紹介しています。博物館にある「モノ」たちは、「コト」(＝事／言)つまり情報とセットになることで、歴史や未来を語ってくれます。来館者の皆様の一つ一つの「モノ」の背後にある「コト」にもぜひ目を向け、あるいは耳を傾け、そこから思いをふくらませてもらえるような博物館でありたいと考えています。

2016年7月のリニューアル時に、北海道大学の12学部を紹介する展示や、博物館活動のバックヤードをご覧いただくミュージアムラボなどを新設しました。多目的スペースやカフェ、ショップを設け、市民の皆様これまで以上に親しみやすい場所となることを目指しています。

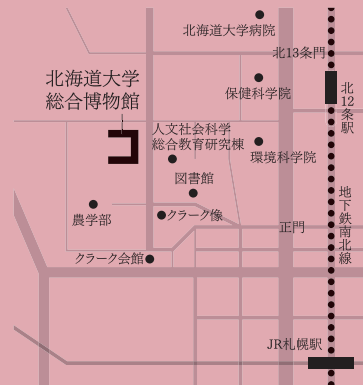


水産科学館

北海道大学函館キャンパスにある総合博物館の分館。2024年に完成した「水産科学未来人材育成館」の3階に移設され、1階の屋外には全長14mのナトリクジラの全身骨格標本も展示される。常設展示室・収蔵展示室では主に水産科学に関する展示を公開している。付属施設の水産生物標本館（非公開）には世界中の水圏から収集された25万点の魚類標本が保管される。

札幌農学校第2農場

明治10年に建設された一軒の畜産農家を模した実験・模範農場。北海道への移住者に未経験の近代的大規模畜産業を採り入れる拠点を置くというW.S.グラウクの構想を引き継いで創られた。当時の酪農経営の形態を知る上で大変貴重な建築物であり、国の重要文化財に指定されている。



交通案内 JR札幌駅北口より徒歩10分。博物館周辺に駐車場はありません。バス・地下鉄等の公共交通機関のご利用をお願い致します。

開館時間 10:00～17:00
休館日 月曜日、12月28日～1月4日
(月曜日が祝日の場合はその翌平日が休館となります。)
※大学行事等で臨時開館・休館場合があります。

入館無料

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目
TEL 011-706-2658
FAX 011-706-4029
<https://www.museum.hokudai.ac.jp/>
museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp





北大の歴史(1階)

北海道大学の前身である札幌農学校以来の本学の歴史と開学以来受け継がれている実学の精神を紹介します。2010年のノーベル化学賞を受賞した鈴木章名誉教授と2021年に同賞を受賞したベンジャミン・リスト特任教授の研究を紹介する記念展示室もあります。



北大のいま—北大の探究心(2階)

北海道大学のさまざまな部局で展開されている特色ある研究を紹介します。

感じる展示室(2階)

鉱石・鉱物・岩石、動物などの標本に実際に触れて感じていただく体験型の展示室です。



知の交差点(1階)

総合博物館は、標本整理や展示解説等に協力するボランティアやミュージアムマイスター認定コースで学ぶ本学学生など、多くの人が活躍し、集う場所です。市民を対象としたセミナーや講座、4Dシアター、サイエンスカフェ、学生企画のワークショップ等を開催する多目的スペース、オリジナルグッズを販売するミュージアムショップ、くつろぎの時間を創るカフェで、新しい出会いを創ります。

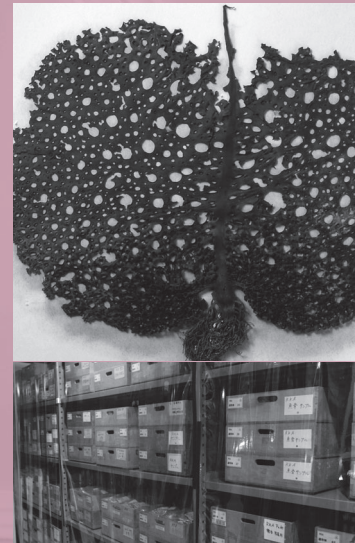
北大のいま—挑戦する北大(1階)

北海道大学は、時々刻々と変化する社会的要請に応えるために、常に挑戦を続けています。持続可能な社会の構築に資する教育、研究、社会連携及びサステナブルキャンパス構築を推進する「サステナビリティ推進機構」と、北極域の持続可能な活用と保全を目指す「北極域研究センター」の挑戦を紹介します。



収蔵標本の世界(3階)

地質学分野、生物分類学分野、考古学分野、科学技術史分野、医学分野について、研究の対象であり研究の材料である学術資料を多数紹介します。化石・鉱物、植物と昆虫、ムラージュ(ロウ製皮膚病模型)など、標本・資料が訴える力を直に感じていただきます。



1階

2階

3階

各階のご案内

- ① 北大の歴史
北大との対話／通底する精神、リベラリズムからの出発、生き続ける札幌農学校精神、実学の精神、ロフティアンビションの系譜(ノーベル賞受賞記念展示)
- ② ホール(知の交流)
- ③ 北大のいま—挑戦する北大
北極域研究センター、サステナビリティ推進機構
- ④ 北大のいま—北大の学び舎(1)
医学部、歯学部、薬学部、文学部、理学部、工学部
- ⑤ ミュージアムラボ
教材開発、宇宙化学、考古学、化石
- ⑥ 知の交差点
講演室(多目的スペース)、ラウンジ、ミュージアムショップ、カフェ
- ⑦ 北大のいま—北大の学び舎(2)
水産学部、農学部、獣医学部、法学部、経済学部、教育学部
- ⑧ 北大のいま—北大の探究心
環境健康科学研究教育センター、北方生物圏フィールド科学センター、地震火山研究観測センター、アイヌ・先住民研究センター、スラブ・ユーラシア研究センター、産学・地域協働推進機構、総合博物館
- ⑨ 感じる展示室
- ⑩ 収蔵標本の世界
考古遺物の世界、医学標本の世界、生物標本の世界、古生物標本の世界、鉱物・岩石標本の世界、科学技術史資料の世界

※夏季を中心に企画展示を開催します(1階企画展示室)

観覧エリア エレベーター トイレ

北大のいま—北大の学び舎(1階・2階)

総合大学である北海道大学には12の学部があります。文学部、教育学部、法学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、農学部、獣医学部、水産学部です。それぞれの学部が目指している教育、教育課程、学生像、歴史を紹介し、最新の一手し研究を解説します。



ミュージアムラボ(1階)

博物館のバックヤードでは、研究者が研究に従事し、ボランティアが資料整理などに協力しています。博物館のバックヤードの一部として、化石・考古・宇宙化学・教材開発分野のラボの様子をご覧ください。

